

科目コード	11230	授業科目	沖縄の生活と文化 (Okinawa Lifestyle and Culture)			担当教員	○波平エリ子(非常勤)		
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目分類	教養科目	授業形態	講義		
選択必修	必修	時間数	30時間						
履修条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	世界における「文化の多様性」の基本的理解の上に、沖縄に暮らす個人ならびに共同体がもつ強みと弱みをグローバルな視点からとらえられるように、沖縄の「歴史や文化」と現代社会において沖縄の人々の生活を支える「地域の社会心理的特性」との関わりについて学習する。								
到達目標	1. 沖縄の基本的な民俗について述べることができる。 2. 高齢者の生活史について述べることができる。								
授業回数	授業内容及び計画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	講義を始めるにあたって 民俗学と柳田国男 沖縄の伝統的村落概括 村落と人々の暮らし 暮らしと生業 糖業と鉄道 家族と親族 門中の成立 門中の構造 門中の機能 家の継承Ⅰ 家の継承Ⅱ 沖縄の霊的職能者Ⅰ 沖縄の霊的職能者Ⅱ まとめ				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	波平	講義		
テキスト	『トートナーの民俗学講座』ボーダーインク、2010年 『おきなわ軽便鉄道マップ』ボーダーインク、2008年								
参考文献	適宜紹介する。								
他科目との関連	老年保健看護科目等と併せて履修することにより、高齢者看護への適応能力を高めることができる。								
成績評価の方法	授業参加状況 20%、試験 80%								
学習相談・助言体制	毎回の授業ごとに、講義内容について簡単な総括あるいは質問票を提出してもらい、理解を深めてもらう。								
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。								
備考	本講義では、沖縄の民俗文化の基本的理解を目的に、伝統的村落・家族・親族・シャーマニズムといった民俗事象を主たるテーマとして取り上げ、沖縄の民衆文化の特色を論じる。また、時間の許す限り、周辺諸文化との類縁性や異質性について言及し、グローバルな視点から沖縄の歴史・文化の理解につながるようビデオ・スライドの活用や巡見を実施し、講義を進めていく。								

科目 コード	12110	授業 科目	社会学 (Sociology)			担当 教員	○安藤由美(非常勤)	
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	社会学の基礎理論をふまえ、個人と社会、集団、地域社会、社会文化等についての理解を深め、情報化社会、少子高齢化社会、グローバル化等についての問題を取り上げ、事象の多面的な捉え方について学習する。							
到達目標	社会の諸要素（関係、集団、組織、地域社会、全体社会など）に関する基礎概念を理解し、それらを使って現実の社会事象を考察できる。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	社会 行為 集団 家族 都市 逸脱 コミュニケーション 社会心理 宗教 ジェンダー 医療と福祉 現代社会 オン・デマンド・トピック（1） オン・デマンド・トピック（2） 総括討論				第1章 第2章 第3章 第4章 第5章 第6章 第7章 第8章 第9章 第10章 第11章 第12章 全章	安 藤	講義	
テキスト	奥井智之著『社会学』東京大学出版会							
参考文献	講義中に指示する							
他科目との 関連	授業科目全般							
成績評価 の方法	試験・レポートの成績、受講態度などを総合的に評価する。							
学習相談・ 助言体制	質問や相談をコメントペーパーや電子メールで受け付け、次回の授業時に回答する。							
授業改善の 特記事項	授業への要望、感想をコメントペーパーに書いてもらい、授業改善に活かす。							
備 考	連絡用サイト http://yahoo.jp/CFnqiY E-mail yando@eve.u-ryukyu.ac.jp							

科目 コード	12120	授業 科目	法 学 (Law)			担当 教員	○佐久川政一(非常勤)		
開講年次	3年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義		
選択必修	選 択	時間数	30時間						
履 修 条 件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	「法」とは何か、法のしくみ及び基本原理を正しく理解し、日常生活において生ずる様々な問題を法はどのように処理、解決しているのかについて学習する。また、生命を尊び、人権を尊重することを理解するために、日本国憲法の基本的人権の章に焦点をあてて学習する。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・最小限度の法的知識を得、一般私人としておよび公人として必要最小限度の法的知識、法的ものの考え方（リーガルマインド）を学び、豊かな人間性や社会性をはぐくむ。 ・医療に関する裁判が日常茶飯事である現代、将来医療の重要な一端を担う看護職者として、医療過誤の法的問題点、その解決の仕組みや裁判例等についても一定の理解力を得る。 								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1～5回	I 法学概論 (1) 法とは何か (2) 法と社会生活 (3) 法と道徳・倫理 (4) 法の体系・種別 (5) 法と権利・義務 (6) 法の適用と解釈 (7) 法と裁判・裁判制度 II 日本国憲法 (1) 日本国憲法の制定過程 (2) 日本国憲法の基本原理－明治憲法との差異－ (3) 人権とは何か－人権の誕生とその思想的背景 (4) 法の下での平等 (5) 自由権 (6) 社会権（生存権） (7) 医療と人権－安楽死、尊厳死、脳死と臓器移植 自己決定権とインフォーム・ドコンセント、 医療事故、その他 (8) 統治機構の概要				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	佐久川	講義		
第6～15回									
テキスト	講義中に提示								
参考文献	講義中に提示								
他科目との 関連	授業科目全般								
成績評価 の方法	学期末試験又はレポート								
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。								
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。								
備 考	新聞を読む習慣を身につけて欲しい。特に医療関連記事。 教員の免許状（養護教諭二種）取得のための必修科目								

科目 コード	12130	授業 科目	経済学 (Economics)			担当 教員	○狩俣一郎(非常勤)	
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	生きた現実経済の中から、生活に根差した具体的な事例を取り上げながら、経済の基本概念である需要と供給の概念について学習する。							
到達目標	経済理論の基本的な理解。医療経済学の基本的な理解。 我が国における社会保障と医療経済の現状の理解。 医療の現場における医療経済学の理解。 医療経済学の知識を用いて現場での実践的な活動計画の検討ができるようになる。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	経済学・医療経済学とはなにか。 需要と供給（価格はどのように決まるの） 比較優位論（貿易赤字、貿易黒字とはなに） 情報の非対称性（その価格は妥当なの） 前半のまとめ 世界における社会保障と医療経済 日本における社会保障と医療経済① 日本における社会保障と医療経済② 医療保険・介護保険のメカニズム① 医療保険・介護保険のメカニズム② 医療スタッフの労働市場 医療現場での医療経済① 医療現場での医療経済② 全体のまとめ テスト				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	狩 俣	講義	
テキスト	ノート筆記方式で講義を行うので、テキストは使用しない。							
参考文献	紙面の都合ですべてを掲載できないので、講義開始時に一覧表を配布する。 菅原 晃（2013年）『高校生からわかるマクロ・ミクロ経済学』 河出書房新社 他							
他科目との 関連	授業科目全般							
成績評価 の方法	授業参加状況（20%）＋ レポート（20%）＋ 期末試験（60%）							
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。							
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。							
備 考	経済学の初歩的な理解を得て、興味を持ってもらうことを目的としています。 また、医療経済学の基本を学び、実践に生かせる知識の取得を期待しています。							

科目コード	12160	授業科目	情報学 (Informatics)			担当教員	○米盛徳市(非常勤)		
開講年次	2年次	前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講義	
選択必修	選	択	時間数	30時間					
履修条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	情報の持つ意味など情報の本質に関する理論や知識を学び、さらには科学的思考活動や社会調査など研究活動に結びつく情報の処理方法とその応用を学習する。								
到達目標	1. 情報の意味およびその活用方法について述べることができる。 2. 情報およびデータの分類について述べるができる。 3. 調査データを用いた情報処理を行うことができる。 4. 処理した情報を活用することができる。								
授業回数	授業内容及び計画					事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回	情報とリテラシー：情報とは何か					レポート1	米盛	講義	
第2回	ICTについて：インターネット技術と仕組み								
第3回	情報の活用と発信：ブラウザによる情報の活用								
第4回	データ処理1：データの分類と尺度					レポート2			
第5回	データ処理2：数値とカテゴリーの扱い								
第6回	データ処理3：基礎的データ処理の考え方								
第7回	データ処理4：2つのデータの組み合わせ					レポート3			
第8回	データ処理5：2つ以上のデータの組み合わせ								
第9回	データ処理6：高度なデータ集計法と適応範囲								
第10回	データ処理環境の選択とツール：Excelと統計ソフト					レポート4 レポート5 レポート6 レポート7			演習
第11回	R言語による情報処理演習1：基本操作編								
第12回	R言語による情報処理演習2：データ入力								
第13回	R言語による情報処理演習3：基礎集計								
第14回	R言語による情報処理演習4：クロス集計								
第15回	まとめ								
テキスト	R 初心者のための ABC シュプリンガー・ジャパン(演習用)、講義は配布資料を基に行う。								
参考文献	講義時に紹介する。								
他科目との 関連	授業科目全般								
成績評価 の方法	授業参加状況 10%、演習参加状況 40%、試験 50%								
学習相談・ 助言体制	講義は全体で3回レポートを課す。演習は毎回レポートを課す。レポートは次回授業までに提出を求め、講義内容についての理解を広げ深める方法の体験を促す。								
授業改善の 特記事項	講義および演習内容を伝達するための資料を毎回作成、配布する。								
備考									